

<児童発達支援事業> 令和5年度 自己評価の結果（公表）

公表 令和6年2月13日
美瑛町子ども支援センター

この「自己評価の結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

対象者 6名

| | チェック項目 | はい | いいえ | 課題点△、工夫している点○ | 改善内容・改善目標 |
|--------------------------------------|--|----|-----|--|---------------------------------------|
| 環境・体制整備 | 1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | 6 | 0 | | |
| | 2 職員の数や専門性は適切である | 6 | 0 | | |
| | 3 生活空間は本人にわかりやすく構造化された環境になっている。設備等はバリアフリー化や情報伝達等への配慮がなされている | 5 | 1 | △1人1人に合わせて環境や構造化の工夫が必要だと感じている △子どもに合わせた環境を整えていきたい △整理整頓を心掛ける | ・使いやすい動線考えて、環境づくりをしていきたいと思います |
| | 4 生活空間は、清潔で心地よく過ごせる環境になっている。子ども達の活動に合わせた空間になっている | 6 | 0 | | |
| 業務改善 | 5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参画している | 5 | 1 | △意識化できるように常に職員同士の声掛け必要と感じる | ・内部研修や話し合うための時間を確保できるよう業務改善に努めていきます |
| | 6 保護者等に向け評価表を活用する等により、アンケート調査を実施して保護者の意見等を把握し業務改善につなげている | 6 | 0 | | |
| | 7 自己評価及び保護者評価の結果を踏まえ、事業所としての評価を行い、事業所の会報やホームページ等で公開している | 6 | 0 | | ・保護者配布、施設内掲示、ホームページにも掲載しています |
| | 8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | 6 | 0 | ○会議等で関係機関より意見をいただく機会を設けています | |
| | 9 職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保している | 6 | 0 | | ・今後もよりよい支援ができるように取り組んでいきたいと思っています |
| 適切な支援の提供 | 10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で支援計画を作成している | 6 | 0 | | |
| | 11 子どもの適応行動の状況を図るために標準化されたアセスメントツールを使用している | 6 | 0 | ○共通のツールを利用しています | |
| | 12 支援計画には「発達支援・家族支援・地域支援」という観点や内容から適切に項目が選択され、具体的な支援内容が設定されている | 6 | 0 | | |
| | 13 支援計画に沿った支援が行われている | 6 | 0 | | |
| | 14 活動プログラム立案をチームで行っている | 6 | 0 | | |
| | 15 活動プログラムが固定化されないよう工夫している | 6 | 0 | | |
| | 16 子どもの状況に応じて個人活動と集団活動を適宜組み合わせる支援計画を作成している | 6 | 0 | | |
| | 17 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをして、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認している | 5 | 1 | △打ち合わせが不十分なことがある △役割分担の確認が必要だと感じている | ・話し合うための時間を確保や事前準備等ができるよう業務改善に努めていきます |
| | 18 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをして、その日に行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有している | 5 | 1 | △出来ていないことが多い △終了後共有できるようにしたい △少し深めるための時間確保が必要 | ・上記同様 業務改善に努めていきます |
| | 19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | 6 | 0 | | |
| 20 定期的にモニタリングを行い、支援計画の見直しの必要性を判断している | 6 | 0 | | | |
| | 21 障害児支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | 6 | 0 | | |
| | 22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている | 6 | 0 | | |

| | | | | | | |
|--------------|----|---|---|---|---|--|
| 関係機関や保護者との連携 | 23 | 移行支援として保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | 6 | 0 | ○常時関係機関との連携を図っている | ・今後もよりよい支援が提供できるよう連携を図っていきます |
| | 24 | 移行支援として小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | 6 | 0 | ○ケース会議や療育支援会議等で情報共有している | |
| | 25 | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | 6 | 0 | ○視察研修、道立専門支援事業等を実施している | ・今後も専門性を高めていく研修に参加していきます |
| | 26 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流、障害のない子どもと活動する機会がある | 6 | 0 | | |
| | 27 | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している | 6 | 0 | ○コーディネーター会議、要対協等に参加している | |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | 6 | 0 | ○保護者と情報や意見交換を行い共通理解を図っている | ・丁寧な対応を継続していきます |
| | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対し家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング)等の支援を行っている | 6 | 0 | ○日ごろからの対話や面談記録等で振り返りができるようにしている | ・保護者の主訴に対して適切な情報提供ができるように職員の専門性を高めるように努めます |
| 保護者への説明責任等 | 30 | 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | 6 | 0 | | |
| | 31 | 児童発達支援のねらいや支援計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から支援計画の同意を得ている | 6 | 0 | | |
| | 32 | 定期的に保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援をおこなっている | 6 | 0 | | |
| | 33 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | 6 | 0 | | |
| | 34 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している。 | 6 | 0 | | |
| | 35 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している。 | 6 | 0 | ○定期的に発行し、情報提供を行っている | ・今後も継続していきます |
| | 36 | 個人情報の取り扱いには十分注意している。 | 6 | 0 | | |
| | 37 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている。 | 6 | 0 | | |
| 非常時等の対応 | 38 | 行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている | 5 | 1 | △講演会は行っているが、さらに参加していただけるような企画を思案している | ・地域のニーズを考慮した行事運営ができるようにしていきたいと考えています |
| | 39 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知すると共に発生を想定した訓練を実施している | 6 | 0 | ○マニュアルを作成し、職員内で共有している | ・年間計画に沿って、様々な想定での訓練を実施していきます |
| | 40 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | 5 | 1 | △全ての利用者に実施できるように日程を組んでいるが、欠席した利用者への周知の工夫があると感じている | ・毎月のおたより等での周知に加え、より伝わるための工夫をしています |
| | 41 | 事前に服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している | 6 | 0 | | |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | 6 | 0 | ○保護者から情報を得て、共通理解して取り組んでいる | ・全体で共有していきます |
| | 43 | ヒヤリハットの事例集を作成して事業所内で共有している | 6 | 0 | ○年度初めに研修を行っている。事故が発生した場合には、職員全員で共有し、対応策を検討している | ・今後も、全体で事故防止に努めます |
| | 44 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。 | 6 | 0 | ○研修会に参加し、報告する ○定期的な研修の実施している | ・今後も研修を行い、情報を共有していきます |
| | 45 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上で、児童発達支援計画にきざしている | 6 | 0 | | |